

地域おこし協力隊 がゆく



▲畑作業の様子



▲徳永隊員

地域おこし協力隊の徳永です。

「夢はなんですか?」、「目標はありますか?」、今は答えられません。正確には、夢や目標は一言では言い表せないし、日に日に更新されていくものだからです。昨日やりたかったことも、明日にはやりたくなるかもしれないし、今やりたくないことが、一週間後にはやりたくなるかもしれません。幼稚園や小学校、中学、高校、大学、それぞれで思い描いていた夢、それは今見る夢とは全然違います。だからこそ、1年後のことは想像がつかなくて、今を大切に生きたいと思っています。

この街に来て3ヶ月、やりたかったことが少しずつ叶っています。子猫を保護して飼い始めたし、畑も始めました。そして、これからも色々な新しいことに挑戦したいです。都会に住む若者や地域住民が気軽に集まれるように、古民家を改修してサロンを開きたいし、自家栽培の野菜や地域の作物を使ったドリンクやスイーツを作るとか、写真集も出してみたいし、イベントのデザインもしてみたいです。地域の未活用資源や、古い街並みをもっと活かしたいとも考えています。やりたいことは他にもたくさんあります。多くの人の協力のおかげで、今は諸沢4区で野菜を育てています。今後はその畑を中心にイベントを行いつつ、コンテンツを増やしていきたいです。

環境インフォメーション

「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」に基づき特定外来生物に指定されている、オオキンケイギクが市内で発見されています。オオキンケイギクは繁殖力が強いいため、栽培・運搬・販売・譲渡・野外に放つことなどが禁止されていて、一般の家庭や畑に生えている場合は除草が必要です。

＜オオキンケイギクの特徴＞

- ・ 短年生草本
- ・ 花期5月～7月ごろ
- ・ 高さ30～70cm
- ・ 直径5～7cm のオレンジがかった黄色の花をつける

■問い合わせ■

生活環境課 生活環境グループ ☎52-1111(内線123)

地域創生部各支所 山方☎57-2121 美和☎58-2111

緒川☎56-2111 御前山☎55-2111

《注意》

オオキンケイギク(大金鶏菊)について

処理するときの注意

オオキンケイギクが庭などに生えているのを見かけたら駆除をしましょう。駆除にあたっては、生きたまま移動させたり、保管するなどの行為が禁止されています。

処理する際には、根から引き抜いたものをビニール袋等に入れて厳重に密閉し、2～3日天日にさらして枯死させる等した後で、可燃ごみとして処分してください。



▲オオキンケイギク